



不

審

紙

45
319
2



Handwritten text in Chinese characters, likely a signature or title, written in black ink on the left page. The characters are arranged in two main groups, with some smaller characters interspersed. The top group appears to be a name, possibly '王德林' (Wang Delin), and the bottom group includes characters like '子' (Zi) and '之' (Zhi), suggesting a personal or possessive name.

遠門
319
卷二

伊播

不審紙卷之二目錄

千手觀音

待病臆病

賣買人の武道好

羅候羅出生

善光寺縁起

一食坊主脾胃虚

系譜の論

吉貝買

生過ぐる人

雷れはくさぐる人

人と用おの利害

出家の万劫道具

決断並推量自慢

鬼乃禪

雷のどちぐる樹

一蓮詫生

不審紙卷二

千手観音

てぶご子本あつむ。極重宝なるんと。そそ世人の
ありひける。あつむ。この説法は。どちよりけん
情を。よよ。自他。いすく。ちく。不自他。多うん。
まげ。あま。捨る。あ。一。まに。子。粒。げ。あ。り。て。は。し。
市。家。れ。初。清。撫。い。も。や。あ。ま。と。用。ら。ゆ。入。迫。合。て。あ。
し。又。せ。れ。あ。り。ぐ。用。に。ま。べ。ま。や。う。と。捕。ま。る。に。
よ。に。ま。短。ち。う。て。ふ。り。げ。ま。ご。二。人。と。は。げ。り。ま。る。

てこそ遠方してと。六百本目の二十又丈餘なり。
長ケ五七尺れ男として。ゆるを死はあらしてけり
合日あり。又お懸れ積と考へんまじり男を長ケ
六十二又丈むりあり。六七尺の人れ中へ
かくれどくの大人独まどりり給ひおぼ緝子
栗の目へ面瓜のへらるるうにこそ。茶とるよ。お
仏れれ市方便ぬや。或時の物と現と。禪よ
光燦とあら。又或時の豆あらとあら。三布に光
と失ひあり。先心迷惑の醫者あり

子本此脈と窺。一病人あて一日と書とて
三面の大黒なり。た右れ振はけとる。脈中
後れり。さうく。人持れ入。市持合の二儀あていじん
がうあるる。おり。さかく。百足子。里とゆる。此
一本足も。大坂よりけり。ぐ。ありて。南約は。種
人の頭を世活する。二歌四肢。して。いせの。用い足
まじり。子。浦山。一。く。三面。を。けり。と。持合の
六。お。く。足い。是。父母の。賜。なり。誠。に。有。く。く。ま

歌音とぬくは腕行とせど都て無益は事よ。
大切の身は祇甘ぬやうに一生持たざるをのこ
侍乃瘰癧病

至恩とよきまじいげにこれとゆるさる死状
柳んじりる。却て瘰癧病とやいふんは故武乃
乃の奇細ちりりしく。愚よあわく益行し。痛ず
よれらぐじは孔ま子の口中立而不偏強哉強矣又
武れ字或ともとくや。實劔刀と以てせざる感
として人裁制し和と慈とを以て。民と事と

る有ぐとたゆのちり。腸おれ大袷文鉤し費入
かい仏ちりる

賣賞人れ武道好

け穿大方己が家業に跡とりのあり。乱世をどほ
陳屋の食炊もぬべきりか。かたがとくは静徳に
所代よまはれら。徳也。丸搦みくもすゆ。死
ものちり。武乃好の町人金瘡の膏薬貯へく。
巾着かちりる

羅候羅出生



よ。こまはの用り者ありたり。名はけりありてはる。
る。一食坊も此食思ふ二時の食に過り。三時乃
食と。世理は一時に喰込ゆ人教を去れ。行る
脾胃虚し。らもの。せよ多く。入る。又一食を
五穀の世乃費と。え。食を。本食は倍あり。法
人貴く。えへ。後よ。全派と。せ。おに。施と。ゆ人
大富と。なり。本食あり。細代。家相。金。及。乃。附。れ
校。若。成。つ。せ。も。ぬ。織。の。歩。行。侍。と。は。ま。ま。乃
行列。よ。ひ。し。と。代。れ。費。成。も。ぐ。め。り。た。り。た。り

およぢるるもぞ

系譜の備

吾國もく。系譜と。ま。じ。の。昔より。世史よ。抄り
る。る。さ。め。れ。人。或。い。称。さ。に。載。る。さ。の。権。の。備。ぞ。
系譜野。し。き。人。抄。形。り。梅。檀。の。二。葉。より。あ。ん
る。し。と。ら。や。細。さ。れ。時。ら。り。忍。流。よ。秀。秀。世。智。を。す。く
ち。く。本。智。に。か。し。し。世。智。と。い。ぬ。あ。れ。利。潤。と
これ。を。通。た。く。一。人。の。小。利。成。あり。ひ。百。人。の。か
け。さ。と。し。た。又。本。智。と。い。ふ。高。分。の。系。家。あり。く。ん

をそとれぬごとく。私わがの小利成せて。下くだれ。悦よろこむと好このむ。儲たくわひ外ま落おし。前まへと。幽ゆかに。賢とくく。思おもふ。賢とく子こは。徳とくと。て。豊とよ國こくに。安やすん。と。樂たのし。む。の。者ものあり。ホ。系けいに。あり。く。く。に。吾われ六む根こんを。足たりす。富とみは。う。死しら。り。も。た。く。て。思おもふ。魚いに。是これ。死しら。る。の。債せを。源もとと。考かんふ。に。支しぬ。支しぬ。の。時ときを。魂たまの。心こころと。感かんず。賊やく魄はくの。妙めう玄げん成せい感かんと。て。以もつ。集しゆ積せきす。る。あり。則すなはち。同どう氣きお。需すれ。理り趣すうと。て。信しん成せいよ。氏うぢ乃の蔓まん。子この。方かたう。う。ぬ。と。り。く。の。宜よろし。く。不ふ成せいよ。支しぬ。

支しぬ。一い生せいに。要よう幣ひ。未み嗣しの。時とき十八じゅうはち變へんれ。と。人ひと。愚ぐ後ごと。く。は。故こ。進しんと。く。は。仰おほげ。は。債せ人にんの。子こに。賊やく人にんの。子こに。遠とほ國こくに。是この。法はふを。こ。ま。し。め。り。又また。賊やく人にんの。子こに。身み子この。多おほく。房ぼう心しん天てん理りよ。つ。ひ。さ。る。少すくや。幼おとく。に。去いま。賢とく奴ぬの。族しゆ己こが。心こころと。も。て。さ。げ。昔むかしの。竹たけ乃の子こ孫そん渠けの。多おほく。は。末すえ高たかなり。亦また。此こゝの。室むろの。月つき乃の差さ物ものと。と。く。は。こ。の。多おほく。は。先せん祖ぞへ。辱ちからせ。る。所ところに。有あり。新あらたく。吾われる。麻あと。を。上うへへ。賣うり。の。義ぎ信しん百ひやく人にんの。有あり。

六八番 銭 卷之三

さがどに先祖いさくありけるよ。いふこと
 かく下劣に生れぬや。お笑ひさか。是より
 恥辱もこのこと。史系譜と正と。心は只根
 情の邪正。此小大。自と。地と。喜と
 角と。生と。牛と。教と。一教他生との。是なる
 處。想として。可相。本授と。志と。る。作。仏名
 叙。多く。此。金銀と。費。刻。此。名。相。法と
 失。畫。餅と。なる。作。佛。名。叙。も。それ。人
 うりて。目。推。ま。べき。り。何。れ。名。叙。り。も。佛。授

がおて。竹。より。き。る。法。に。弘。見。の。一。句。とい。ん
 惠心木佛稱名的 西川姿繪自犯角
 本。仏。人。と。度。せ。ん。法。情。を。色。せ。ん。危。下。刀。利。キ。ム
 利。刀。ち。り。一。人。曰。汝。が。先。祖。の。性。也。思。そ。耐。藤。と。そ
 か。と。著。て。曰。そ。と。く。吾。祖。も。一。昔。一。元。氣
 と。り。す。の。あり。て。陰。陽。は。二。子。と。生。別。支。奴。と。あり
 て。天。地。と。号。と。び。子。孫。を。く。お。續。し。て。と。吾。に
 い。り。て。百。千。万。億。十。七。代。る。り。ち。ん。と。く。吾。り

由らりくる。先祖もあつた。曲家が茶ひら

賣買

一、此作らるる。商人の村。種竹がどあれど
産業とある。愚杖として曰。大柴とぬく。別
の。一割ちり。賣とり。字の。賣とり。字に。十一と
冠とせら。百歩は。賣するもの。百十歩は。賣。一
割ちり。種りとり。ども。高相れ。或る。土地
より。是別。甚多し。糸の。大坂。どの。至
極。華。此。地。商人の。力に。り。莫。その。救。と。見

あり。二箇。此。村。成。る。別。う。と。り。ども。年
中に。厚。利。と。ゆる。その。田。也。救。たり。たり。賣
もの。二箇。の。村。成。る。一。救。成。る。と。り。ども。の。い
れ。あり。一。年。中。に。百。五。と。ぬ。く。こ。も。ぬ。ら
る。あ。ふ。と。の。ま。又。百。五。と。ぬ。く。百。五。と。高。ら。り。の
あり。小。里。あ。て。い。二。割。之。割。あ。り。り。又。七。割。と。ぬ
く。於。業。は。他。ど。そ。内。也。高。の。お。れ。た。ら。ま。て
存。存。の。る。ぐ。大。邑。と。く。令。派。抄。と。ぬ。て。を。派
抄。と。ぬ。と。ぬ。あ。み。是。あ。る。皆。存。と。り。は。高。百。抄。と。ぬ。て

百二沙に〜。大村ちる〜。小里あ〜。豆
 齋れ〜。元價百沙の大豆と〜。穀わ〜。て。
 二百沙に高し。倍利と〜。〜。〜。〜。〜。
 徳商量一板に定〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 こと〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 曰い〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 砂と〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 砂生〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 至極〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。

つれづれの人

得借に矢形死と〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 して小贅と〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 お〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 塵〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 此〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 〆〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 酒の〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。
 持れ表二二〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。〜。

立居此序にも人の意とせらるる所
あやたしと地と昔ししり人なり衆も此地乃
何さう成を業か竹ふも祀さぬ人の成
ありしものによら心真れ成地ありあに
まぐらび又二十六信の出世と信と
ちぐら心所石とあり或は地一神と立く
二仏と用ひ信とりどとて地念時代は九
孝よ本仏れ地苑のあはぬとて本に
てい百度の所後と小使強へちげ地と古

とりをに本此地因りしとて好相色
まを件とあしりのる素麵味増るれ地
此教あく喰ふいま此好ふ何れとそ素水に
く喰ひ蕎麦切と地苑もちれ又板れ志はり
けりりりそ喰人まこまの信一人あのはよ
して自化平爲れ理にあはばいま似て母と
然りしとて大らるるれちぐらある人作
人情れ滅る父母れ外よむく地は是と素ト
然ひ更ぬ兄弟の病とありて寝念成しとれ

不審録卷二

二

嘔もはれてもやーたひ君のまづさやふや朝
端も物味て入るれ。さうりさうりて。お音もさ
くまき音あうりと候ぶあんぞ。お朝のしひれ
うれ中。お神のたぬ。葉のぬり似せとさか
いとる坊主と。祿天魔といひさう。又修盤此出後
と謗法とて。お四へさうり。お社まて冊しじり
あつた。彼家に初後しる。ご十音神の外。此家此
幼清しる。社ま。神い。さうり。とさうり
なごこのう。日ま。上人。中井。廣田。此の。所。あつた。

おれ八儀の前。あつた。さうり。あつた。社ま。し。あつた。
る。お。神。時。家。の。初。後。に。あつた。去。つ。た。お。此。家。初。清。
れ。社。ま。あ。つ。た。い。さうり。あつた。あつた。あつた。あつた。
とも。ま。せ。れ。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。
し。て。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。
天子。の。軍。或。い。は。何。の。守。と。さ。う。り。あ。つ。た。あ。つ。た。
縦。此。家。の。ま。の。事。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。
け。ま。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。
頂。ぶ。る。恐。人。の。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。あ。つ。た。



あつどももゆさ〜く親れ名字とらん〜何ぞ
 小役へお込まんやうの了るまひあつものど
 を来望はた〜と。お暇あ。家内と〜あ
 法飲とやいし人。國賊とま〜い。春心凝つ〜く
 我身あ。春心凝つ〜く。日宗初清れ
 社あり〜て。眞正の白に社のは〜さんら
 徳人もあ。停暫れ社。社ら〜ゆいぬ
 り〜役軍もあ。行ののれ〜ま〜あ
 ねども〜けふ〜海〜あ〜あ〜あ

の背を今も〜い〜い〜

雷れは〜い〜人

京前西條。城友の亭主。平日馬がたに出入して
 お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。
 と織出〜ゆる。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。
 色ゆるに。延し〜及ゆる。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。
 竹ま〜亭主。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。
 さ〜い。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。
 いうる。病ち〜んと。お二重と高とのま。お二重と高とのま。お二重と高とのま。

ありとつゝ。瓶びんうすこいせ。具死具りやと。同どう作さくし
 雷かみなりがけきさけらると。何なにもかゆかゆる死しゆゆる
 ゆへ子こ細さいとまづまづひねれど。夢ゆめまかたに雷かみなり音ねとと意い
 去されれ大たい雷らいうり。奴やつちちるるぬ。乳ちち色いろととちちり
 隣となり家のいえののりり。宿しゆく本ほんここいい。西にしちちりり。ゆゆままへ
 ととここ目めにに。落おちんんとといいひひののありあり。おお村むらににああららん
 ららここににああららんん。法ほつ法ほつ社しゃ山さん伏ふくおお。救きうととははしし。祈いのち
 祈いのちととすすれれどど。ああららんん。誠まことはは保たもたたぬぬははららんん。益えき蛇へび乃なり乾か
 おおちちりり。平ひら覺あきここごごにに附つららんん。やや。益えき蛇へび乃なり乾か

盃さかづき中ちゆうはは梅うめとと香かでで後あつちゆう中ちゆうとといいひひららんんもも。げげみ
 ねねちちりり。病ひやう根こんちちりり。一いち
 人ひととと別わかれれたた利り害がい
 幸さい財ざいにに。人ひと欲よくのの私わたくしとと行いひひののもも。おおとと提ち提ち規ぎと
 一いち。地ちととああららんんゆゆへへ智ち後ご曇とんつつ。すす代だいれれ。理りののりりらら
 むむららんんしてして。大たい功こう立たつつ。一いち。是こゝとと一いち。此こゝとと照てんにに。
 甚よとと家いえのの中ちゆう間かんへへ。下したケけのの雲うんととしてして。ひひままとと曲まがと
 けげづづりり。病ひやうととああららんん。一いち。おおちちりり。いいららんん。いいららんん。いいららんん。
 以も愚ぐ痴ち之の智ち者しやはは農のう夫ふう志しののぶぶらら。奴やつ婢ひれれらら。いいららんん。

とも。吾心の良智あり。自地よ。是れ。此。理。を。伏
 して。おん。それ。う。適。人。や。ま。町。その。村。の。長。又
 多。れ。乳。乾。ある。その。の。び。た。理。の。め。り。あ。く。
 は。と。び。べ。一。候。じ。べ。一。候。百。万。貫。とい。ふ。人。
 六。十。万。貫。の。法。は。は。ら。り。の。よ。下。約。一。十。万
 貫。の。一。切。の。修。度。十。万。貫。の。院。内。は。は。と。二十。万
 貫。と。と。れ。由。身。の。用。と。一。の。ひ。至。教。成。と。は。く
 一。と。の。心。と。ゆ。と。様。若。一。と。の。入。農。工。高。と。は。は。
 大。小。は。是。別。と。と。り。と。も。の。び。た。理。の。ま。ご。べ。へ。く。は。る

人と。月。に。順。違。小。大。緩。急。不。下。止。是。別。事。と。物。
 は。あ。り。け。理。の。め。り。の。ゆ。り。要。を。ら。ぬ。に。そ。水。は
 理。の。の。の。必。火。は。理。の。と。古。人。も。り。り。大。小。を
 些。細。は。月。の。小。大。と。大。小。は。を。い。つ。ま。し。量。あり。
 小。刀。の。細。も。る。の。に。利。あり。て。勤。割。は。利。あり。茶。の
 大。あり。の。に。利。あり。て。揚。枝。割。は。利。あり。氣。の。励。
 し。き。人。の。大。も。る。ゆ。に。心。は。ゆ。死。の。の。る。る。居。
 は。一。と。一。と。の。物。は。せ。ぬ。の。の。着。病。人。と。執。念。
 は。毒。味。は。六。指。の。居。宅。と。下。有。友。の。の。あ。は。れ。は。後

作りたる麻すり族の言はれ勅而はの重み親父
の借金のお延後鼻のちの男の毛むす代は尻
の毛むすたる女の居はる小姓あがりたのら細工
病守もたうしてあつて音流へ行く小僕めいらう
うくと掛させそ外は兵危ず死に干尻漬らう
き人馬を存察の池は死に殺介長をう歌の
世活する族の音流れとじ町を食ふ先祖
の年長あるとあつたのどめあつたにだうとそれ
いものくまやどい死とまもるる人のめら

知りそれくに殺割りひけはのどめ病め
ちれたのよとよ夜は杖おとさうたし
日月さして化開開と来らうらび末の山とさう
れち死末さうで一日も他當あつたえんや人
あつて取作ちうして後には合と費とと理
るべとら心始とれ家と軽とる病人又の奮
功の老妻あつた行るしきことのりた妻実
に杖おしして病若老妻とらつら信とまう
うに功まことの賞し罪もれは符とせ

賞の厚く、爵の高く、旧職とわすれ、旧功とし
 下らんぐらに、田園がたり、り、今、終は、數あり。
 松月と者、さき、地とあひ、の、爵一、賞する
 り、爵く、し、て、い、ぞ、り、ま、智、れ、ま、人、と、ゆ、ん、や。
 花に、可、令、ま、と、も、一、ま、の、直、ど、ん、の、ま、ま、づ、ん、志。
 とも、家、の、口、肢、の、も、埒、ひ、孤、め、て、竹、ぞ、大、功、立。
 べ、ま、や、繼、會、廩、じ、た、く、く、た、彼、良、人、何、く、は。
 何、と、り、う、ま、の、と、せん、や、愚、元、來、文、盲、れ、し、て、人
 と、ま、する、力、ぬ、く、あ、て、玉、作、ち、し、文、質、れ、死

別、し、く、べ、せ、め、く、ま、づ、れ、ゆ、め、伝、と、失、ざ、ら、と。
 此、家、と、せん、と、か、り、ひ、ゆ、り、あ、れ、た、意、利、ま、て。
 外、に、出、ん、と、ま、る、耐、客、來、あ、り、ま、る、而、が、あ、へ、ど。
 り、ゆ、あ、し、い、ひ、び、た、く、い、だ、ま、か、極、と、思、ひ、春
 は、換、ど、遊、戯、た、ら、う、と、の、孫、が、あ、い、だ、さ、り、た、ら、う。
 大、さ、や、り、言、あ、ら、い、の、と、ま、か、り、ひ、方、に、花、ま
 ち、ら、も、の、あ、り、是、別、人、那、れ、れ、と、ゆ、り、あ、る、あ、
 不、足、も、ん、ど、ま、か、り、と、ま、る、是、小、人、の、利
 よ、か、り、さ、く、ゆ、ち、あ、ら、い、ま、ま、い、ま、と、か、ひ、ゆ、ん、人

いづれも。おれは。何れも。人づかひ。直に。せん。と。心。づく。ゆ。ゆ。人。可。し。不。祥。所。の。不。幸。と。遅。速。の。ち。づ。ひ。わ。き。ご。も。備。さ。お。し。ぬ。さ。ぬ。あ。ん。ど。り。ま。も。し。ま。し。業。の。二。向。に。せ。ぬ。り。ち。り。お。給。ま。候。も。し。や。り。し。く。松。次。と。も。な。れ。天。地。に。あ。ひ。ぬ。づ。ま。ら。り。あ。ら。ん。き。い。や。う。づ。ま。身。と。若。く。り。び。し。て。ま。家。大。平。ち。う。ん。し。

おれは。何れも。おれは。何れも。人づかひ。直に。せん。と。心。づく。ゆ。ゆ。人。可。し。不。祥。所。の。不。幸。と。遅。速。の。ち。づ。ひ。わ。き。ご。も。備。さ。お。し。ぬ。さ。ぬ。あ。ん。ど。り。ま。も。し。ま。し。業。の。二。向。に。せ。ぬ。り。ち。り。お。給。ま。候。も。し。や。り。し。く。松。次。と。も。な。れ。天。地。に。あ。ひ。ぬ。づ。ま。ら。り。あ。ら。ん。き。い。や。う。づ。ま。身。と。若。く。り。び。し。て。ま。家。大。平。ち。う。ん。し。

おれは。何れも。おれは。何れも。人づかひ。直に。せん。と。心。づく。ゆ。ゆ。人。可。し。不。祥。所。の。不。幸。と。遅。速。の。ち。づ。ひ。わ。き。ご。も。備。さ。お。し。ぬ。さ。ぬ。あ。ん。ど。り。ま。も。し。ま。し。業。の。二。向。に。せ。ぬ。り。ち。り。お。給。ま。候。も。し。や。り。し。く。松。次。と。も。な。れ。天。地。に。あ。ひ。ぬ。づ。ま。ら。り。あ。ら。ん。き。い。や。う。づ。ま。身。と。若。く。り。び。し。て。ま。家。大。平。ち。う。ん。し。

決断并推量自慢

決断を死人の心に於て断つて人々の心
をさぐる。女は権柄をひたりてくおさう
こそうあきく。定まるもかたかく行脈の論し。
命のあしと案ぐ。怒ひ。一生沉香もぬぐん。
くぐりもせぬ。思慮く仕過ちるもの千人
らもこび大いこ七人のあはれく。揚弓射的の
下流或の株の下流或をゆり移るおちんとん
ひりてくわしめさど。おのれおちるに筆法は皆

り。と文字は姿と似てゐる。而して論理的に申す
と是とすうたなれば。的の真中とある。おちるは
ともこれありて。さういふ人も。あつては。いんも。
を。う。と。これ。だ。め。も。う。あ。べ。一。扱。な。ま。う。い。
え。来。人。お。も。ぬ。く。同。じ。人。も。あ。ら。び。せ。ん。さ。あ。
さ。時。い。ま。の。け。だ。死。死。方。南。と。定。め。ら。れ。ま。す。
を。さ。さ。ら。し。め。り。と。め。く。め。り。の。八。分。は。だ。ら。り。是。も
西。冷。が。け。べ。い。西。は。だ。ら。り。の。理。の。理。の。理。の。理。
一。と。り。と。同。じ。人。お。ち。れ。い。山。中。一。層。と

爲つてしめしめらるれば八分は物と物てあるを
 作りて二分のうちに益も位換へてあるを
 是れちかたよりとありひきて論争とと決り
 ありと又世俗は敵よと封じてい月に付
 ありと岡封城とつらるれば美月よらむま
 ぐしと本邦とをまよらざる聖智とらるる。愚
 俗の頭とつらり。敵よ敵とよせ。こまと激し。
 戦ひの併ありとつらり。封と開けの果して志り
 する所愚俗とつらり。鼻とつらり。高名とつらり

桓武編者素
 知リツ、ナレハ誠
 ニホカ信スル神道

教するものを多くして却て己がる麻とつら
 りの身兼備中あり。張良孔明の惟幕は内あり
 て十分の揚城定め而後我ひつらりけると。又信
 仰もことあり。九つ推し計り。たつて知り
 今ひつらり。凱陣の功あり。そのまは揚負の知
 るこのつらるるを
 鬼の禪
 地獄の場城つらるる。いげもも禪あり。二布
 るる鬼あり。まぐれど男鬼つらり。陰陽とつら

○不審氏巻二

○二二一

ノ圖ヲ見テ天浮
橋ノ欄ヲ中
カ立派ニテ近世
晋請ノ如ク神代
ノモノト見エス
語ニヨリ功異端
是而巳ト
人ノアラフホシク
ハ自分ノアラフヲ
ラハス世ニ吐ク

代價ハ如何ニシテ
支辨スルヤ

たつちして外は鬼も有る家もあれは
又四季に大坂に池あめのもう裸とらん
うり。焦熱地獄かどいたもあつたさうさ
かぐら。火責りりあくもさゆ。剣山
る。多し氣れ良裸とい。輪はよまべ
まぐら。鬼ももさかとのあれは
の郡山深虎舟持。一流の仕もあれ
死かひ掛の結。心よ十結り。仕
でんんものり

雷は落る樹
一寺の庭に大杉あり。廻り七八尺あり。一
い本へ雷墮て枯れり。けさた風信は
雷のあらる本と伐く行ゆ。めり。月
とありきり。愚い本。筑。黄川。船と達。つ。衝。就
の。善。意。用。あり。て。出。船。せん。水。自。日。今日
高下氏神の祭あり。け日。出。船。と。忘。け。入。る
延了すべし。愚意用。然。止。ぐ。し。と。り。ん。も。是
也。と。海。じ。ら。に。及。び。止。ぬ。別。々。有。り。村。れ。長。に

下番氏巻二

二二三

借る。長白絛り。せん。ひま。公。れ。急。用。あり。て。此
日。私。と。出。づ。べ。し。し。仍。る。件。の。旨。と。云。上。は。と
し。と。し。用。ひ。る。と。ん。止。り。と。ゆ。い。ど。こ。被。出。し
ゆ。り。あ。の。と。ん。被。私。し。ゆ。り。む。き。私。水。と。あ
お。の。私。ち。と。い。好。ん。ご。被。私。あ。と。き。い。う。か。し
あ。と。し。ひ。の。と。あ。又。雷。れ。お。ら。し。る。ま。と。以。く。私
と。違。り。の。あ。の。是。ち。う。ん。南。地。と。い。信。家。の
る。に。あ。て。用。ひ。ん。信。坊。山。伏。あ。ら。し。て。の。過。じ
思。ぐ。日。あ。ふ。お。と。る。れ。暗。疾。に。ゆ。べ。私。と。な。る。

と。し。る。肝。や。ま。と。あ。ゆ。べ。私。と。う。と。り。あ。り。し。是
る。と。う。ま。う。り。け。し。し。る。一。物。ち。り。私。と。も。か
あり。て。水。と。ち。う。り。被。私。す。ゆ。ぐ。南。地。の。水
私。私。と。出。づ。必。被。私。す。べ。し。ゆ。り。是。非。と。辨。せ。ん。
私。止。ぬ。又。雷。れ。あ。ら。し。る。の。信。家。に。用。ひ。ん。坊
山。伏。あ。ら。し。る。と。あ。ら。し。る。雷。及。び。私。と。な。る。
穿。ゆ。入。る。あ。の。と。り。あ。ら。し。る。あ。ら。し。る。最。近。私。或。は
土。藏。へ。あ。ら。し。る。私。に。家。助。番。宅。と。指。し。山。伏。は
あ。ら。し。る。思。全。社。と。押。し。し。る。に。あ。ら。し。る。私。

〇二五
〇二五

しての電とてしぐきしては津あし。若足と媛
 の足は方とて成あづりひきこらに附し電神
 此業あり。高地い小見の友便と電へ添し
 円成の髪は毛も鼻とてく言隠し影りし
 毛皆ちんも思無たうに波とみゆへ業あり
 こころありまうしれう。田舎荒神とてた
 く法の下甲て病しゆ。あごのたれも。
 想してあづんきものともとん。うりも
 流中へ心懸あづり。主人或い庄をたれり

災とい四方也。円泡とてい夜けのうら。思
 とちたれに天物極。ちう神極。それうら。一
 として狐皮平日家。あまひけとちう。れと。
 懸そよよるの牛のたの猫め。たのう。落と家
 撥とてよ。飯めが能。よしこち。ごら。ののり。
 ちと飯とい。法人。まじ。びき。もの。内。が。て。農
 人の。去。食。れ。あ。お。も。に。換。持。ぐ。う。と。ひ。あ。も
 画。子。ち。の。首。あ。る。が。い。う。ら。う。こ。の。あ。や
 一。甚。道。院。生。

極不性生しても支ぬ二道に才力と口舌
安任せんとの恥とるや仏説の女の罪障多し
成男子乃後ちうでい性生するのめらば
一人の目男女れを情と何して二道と一を始
め支ぬたよ男子とあり糸髪抜髪よとら
こりし或いりみあげ髪あくと下と悉一
同道に若者さぶ甚し間の由るにひくめん

不審紙卷二終

可也
其
十
年
庚
子
年
春
月
日

四
月
廿
四
日

